## > 子どもたちのあそびと学びの芽



認定こども園大関保育園

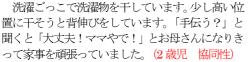
人の育ちを木に例えると、乳幼児期はねっこの部分。 しっかりと育まれたねっこは、やがて葉をしげらせ、実をつけられるようになります。 乳幼児期は、ねっこが育つ重要な時期です。

## 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

① 健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え

⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量・図形・文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現







大好きなシール遊び!緑→黄 →赤とグラデーションになって います。シールの柄は違うのに、 似た色を選んで貼っていました よ。そして、貼っている途中で1 つずつ指さしながら「いち、にー、 さん・・。」と何個貼れたか数えて いましたよ。完成すると満足そう に自分のシールを見ていました よ! (2歳児 数量や図形などへ の関心、感覚)

絵本を見ていた時「僕もそれ見た~い!」と言う子。でも「だめ~。 まだ読んでるもん。」と言われます。 保育者が「A ちゃんも見たかった んだね。B ちゃんまだ見ているから終わったら次貸してもらおうね。」 と声をかけても「いやだ~。」と泣いています。それを見ていた友だち か「どうしたの?」「これ貸してあげる。」とブロックや色々な物を持 って来て泣かないでと言っています。それを見ていた B ちゃん。「ぼ く、まだ見たいけど、Aちゃん泣いてるし・・。」複雑な表情をしていま す。でも、B君考えて「はい。」とA君に絵本を貸してくれました。A 君も「ありがとう。」と言い、泣きやみました。自己主張をする子、少 しずつ友だちの気持ちがわかるようになってくる子、どちらも大切な







よいしょ!よいしょ!と一生懸命 山を登ります。登った先にはきれい な草花を発見!山の下にはトンネル が!! 「おーーい!」 「おーーい!」 とトンネルの中から声が聞こえま す。トンネルのなかで声が響くのを 楽しんでいましたよ。(0歳児 健康 な心と体、自然との関わり)



大好きなブロックを高く積むこ とができ喜んでいると、友だちが横 から拍手をしてくれ尚更嬉しさア ップで大喜びです。友だちと思いを 共有しながら一緒に遊ぶようにな っていくのですね。(1歳児 豊か な感性と表現)

この日の朝、発育測定をしました。デ ッキで遊んでいると柱に背中をつけて いる姿が・・。「大きくなったかなってし てるの?」と聞くと「うん!」と頷いて くれました。経験したことを遊びの中に 取り入れていましたよ。(1歳児 思考





園庭に生えている木から不思議なものを見つけました。

子「これなぁに?」

保「木の蜜だよ!お砂糖みたいなの。」

子「食べられる?給食先生の所に持って行くといい?」

保「それは虫さんが食べるお砂糖だからみんなは食べられないんだ

自然の不思議さに関心を持ち関わっていく素敵な1場面でした。 (3歳児 言葉による伝え合い、自然との関わり)

カナリヤ組で飼っているカタ ツムリ。部屋に遊びに行き一緒 に観察を楽しんでいます。 ツノを人差し指でそーっとさわ

「キャー!ひっこんだ!!」 何度もさわっていましたよ。そ の様子をカナリヤさんもじーっ と見ていましたよ。生き物を大 切にする気持ちが育っていくと いいですね。

(異年齢児 自然との関わり、 牛命尊重)

> ねえねえ。 どうやってさわるの?





ビオトープにいたゲンゴロウを見つけました。足の色が変 わっていることを発見しました。そして虫めがねを持ってき てじっくり観察していました。

(4歳児 思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重)

お家から素敵なお花を持っ てきてくれました。部屋に飾っ てみんなにも見てもらいたいと いう思いから、自分で花瓶にお 花を入れています。隣で見てい た友だちに気づき「一緒にやろ う!」と誘い、生け花教室が開 かれていました。

(4 歳児 豊かな感性と表現) 協同性、言葉による伝え合い)

どうですか?



紫のお花だったのに 水をたくさん入れた ら青色になったより

朝顔の花を使って色水遊びをしました。 「濃い色の紫になったよ!ぶどうジュースみたい!」 と嬉しそうな表情。

「いっぱいできたからお水もいっぱいにしてみよう。」 とペットボトルに水を入れます。すると色が薄くなり青 色の水になりました。

「こっちはブルーベリーにしよう!」 と色の違いを楽しんでいました。

(5歳児 思考力の芽生え、自然との関わり)





ビオトープの中で虫を発見しました。

「それ何?」

「あ!それヤゴだよ。」 「ヤゴって何?」

と興味津々の子どもたち。 すると1人の子が

「ヤゴはトンボの赤ちゃんだよ。」

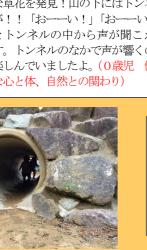
と言うと、図鑑を持ってきて調べたり池の中をのぞいたり・・。

「ここにもいたよ!」

と教え合う姿が見られました。そして 「いつになったらトンボになるかなぁ?」

とヤゴの成長を見守っています。

(5歳児 自然との関わり、生命尊重、協同性、言葉による伝え合い)



声がひびくね! 不思議だなぁ。